

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

特定非営利活動法人市民社会研究所

1 「伊勢おやき本舗」事業の方向転換

- (1) 伊勢おやきの販売方法の変更：土日・祝日を中心（御在所SA・イベント）
 - ・金曜日：四季菜、総合会館等、土日：SAまたはイベントの販売を実施
 - ・水、木にユニバ等の仕事が入れられるようになった。
 - ・年度末からは新型コロナのためイベント中止が相次ぎ、売上が激減した。
- (2) キッチンカーの商品開発と販売：おやき+ピロシキ+飲料
 - ・7月からピロシキの販売を開始（プレーン、チーズトマト、チーズカレー3種）
現在に至るまで好評。
 - ・飲料は最初はラッシーなどを販売していたがその後中止。
- (3) 四日市彩サブレの販売方法の変更：冠婚葬祭用の検討、商品単価の見直し
 - ・冠婚葬祭用は納入単価が低すぎるため実施せず。
 - ・商品単価の見直しは、現在の箱がまだかなりあるため、当面はしないことにした。

2 北勢地域若者サポートステーションの充実

- (1) 支援機能のさらなる向上
 - ① 集中訓練プログラムをはじめとするプログラムの充実
 - ② トレーニングカフェとの連携による実践的な就労支援
 - ③ 相談員の研修の充実
 - ・就職等決定者 目標110人 ⇒ 実績90人（達成率82%）
 - ・新規登録者 目標160人 ⇒ 実績123人（達成率77%）
- (2) 調査・研究
 - ① 相談データを基にした調査研究 → 次年度より取り組む
 - ② 40代以上のひきこもりへの対応の研究 → 今後の課題
- (3) 地域貢献
 - ① 商店街との連携による地域貢献
→ 商店街のボランティア活動を定期的に実施した

3 トレーニングカフェ「スプラウト」

- (1) カフェとしての売上の向上
 - ① ランチメニュー等の充実 → 日替わりランチの実施。その他メニュー開発。
 - ② カラオケ喫茶 → 固定客を中心に人気を博し、売り上げ増加に大きく貢献した。
- (2) 体系的なトレーニングメニューに基づく支援力の向上
 - トレーニング生の多くが能力向上し、トレーニングの効果が顕著であった。
 - 個人別の記録を作成し、今後の分析の資料とした。
- (3) 生活困窮者就労準備支援事業所としての機能発揮
 - 就職に結びつく効果が出ており、鈴鹿市からも委託されることになった。
- (4) 働きにくさを抱える人を包摂する社会づくりの拠点としての発信
 - ① 働くを学ぶ会 ②スプラウトニュース
→ 取組むことが出来なかった。

(5) 地域の人々の交流の場づくり

- スプラウトのお客様を講師に迎え、絵画教室、編み物教室を行い好評であった。
- 身体障害がある人のカラオケ利用が増加した。

4 人権

- (1) 「すべての人にやさしい人権のまちづくり研修支援事業」の実施（三重県委託事業）
松井代表を中心に、35団体、1064人に研修会を実施（35団体、1000人が仕様）
- (2) 四日市市民人権意識調査受託
牧野事務局長、ささえあいのまち創造基金畠中研究員を中心に、調査の集計と分析を行った。

5 調査研究

- (1) 「変化の理論」に基づくアドボカシーの研究
→ 松井代表が実施した。
- (2) 食品ロス削減を切り口にするコレクティブインパクトの研究
→ 松井代表、ささえあいのまち創造基金畠中研究員が実施した。
- (3) 社会的企業の持続可能性の研究
→ 松井代表が実施した。

6 市民社会研究所設立15周年記念イベント → 新型コロナのために延期

- (1) 時期 2020年3月
- (2) 会場 未定
- (3) 内容
 - ① 2004～2019年度のS SKの活動をまとめた冊子と映像（パワポ）上映
 - ② 共育ディベート
 - ③ 市民社会川柳大会
 - ④ 市民のラジオ劇
 - ⑤ 音楽会
 - ⑥ その他

7 他の中間支援組織の事務局・会員 → それぞれ着実に務めた。

- (1) 公益財団法人ささえあいのまち創造基金事務局
 - *四日市市なやプラザ指定管理事業2期目
 - *東海労金NPO育成助成事業
「若手スタッフによる魅力的な市民ファンへの変身プロジェクト」採択
 - *四日市市「市民協働の担い手育成・連携強化等に関する事業委託」
「企業とNPOをつなぐフードバンクの仕組みづくりに向けた調査」
- (2) みえNPOネットワークセンター事務局
- (3) 東海市民社会ネットワーク事務局